

地理 B

学習指導案

岡山県立岡山芳泉高等学校 普通科	3年7組 (39名)
平成28年11月16日(水) 第3校時	第2社会教室
教科・科目：地理α	単元名：ラテンアメリカ

目標	<p>○資料集やデータブックを用いて、ラテンアメリカに位置する国の特色を調べることができる。(資料活用能力)</p> <p>○調べた国について、項目別に整理し、特徴を図に表現することができる。(思考・判断・表現)</p>	
学習活動	指導・支援上の配慮時候など	評価基準・方法など
<p>1 前時の復習</p> <p>2 本時の学習の狙いを確認する。</p> <p>3 国の特色を調べる。</p>	<p>○ラテンアメリカの地域性について、調べた図を示し、特色を振り返る。</p> <p>○グループごとに調べる国を決定し、教科書、資料集やデータブックを用いて、国の特色を調べを確認する。</p> <p>○国について、知っていることを付箋に書かせる。その後、教科書、資料集やデータブックを用いて、知ったことを別の色の付箋に書かせる。調べることができない生徒には、参考になるページを助言するほか、周りの生徒やグループから教えてもらうよう指示する。</p>	<p>○グループで資料集・データブックを用いて、事柄を付箋に書いている (思考・判断・表現)</p>
<p>付箋に書かれている事柄を項目別に分け、国の特色について考えよう。</p>		
<p>4 国の特色を項目ごとにまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>対話的な学び</p> </div> <p>5 国の特色を示す図を作成する。</p> <p>6 本時を振り返る。</p> <p>7 次時の予告を知る。</p>	<p>○付箋を項目ごとに分けさせ、関連する事柄を矢印で示すこと、枠で囲むことなどKJ法を用いてまとめるよう促す。</p> <p>○調べた国の特色を表す図を、2枚作成する。</p> <p>○本時を振り返らせる。</p> <p>○次時の予告をする。</p>	<p>○グループで話し合い、事柄を共通する項目に分け、まとめようとしている。 (思考・判断・表現)</p> <p>○グループで話し合い、特色を地図やグラフで表現している。 (思考・判断・表現)</p>

地理 A

地理 A 学習指導案

岡山県立岡山芳泉高等学校 普通科 2年8組(41名)
平成28年11月16日(水) 第6校時 第1社会科教室

本 時 案

目標	<p>○企業の農牧業の成立過程と特徴について理解することができる。(知識・理解)</p> <p>○企業の農牧業が行われている国で生産されている作物の特徴や貿易の特徴を、企業の農牧業が行われている国の特徴と関連づけて考察し、その過程を表現することができる。</p> <p style="text-align: right;">(思考・判断・表現)</p>
----	--


学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準・方法など
<p>1 前時の復習と、本時の内容の確認を行う。</p> <p>2 企業の農牧業の成立過程とその特徴についてペアで理解を深める。</p> <p>3 グループに分かれ、p55の作業について、①～⑤に当てはまる国名を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの農牧業について考察を深めた前時の振り返りを簡単に行い、本時は企業の農牧業について学習することを説明する。 ・資料集をもとに、調べて互いに発表し合う。その後、まとめの意味で、教員が補足説明を加える。 ・p55の作業について、①～⑤に当てはまる国を考える。データブックや資料集などのデータを参考にするよう指示する。 	<p>〔観察〕</p> <p>企業の農牧業の成立過程や特色について、理解しようとしている。(知識・理解)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ①～⑤の国々について、なぜ解答がそうなると言えるか、根拠を明確にして解説を作ろう。 </div>		
<p>4 p55の作業について、解説を作成する。</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto; color: white; text-align: center;"> 対話的な学び </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで協力して、問題の解説を作成する。作物や国の特徴から考えさせることに注意し、「データがそうになっているから」など考察に基づかない解説になっているグループには、作物・国の特徴から理由付けをするよう助言する。 	<p>〔観察・ワークシート〕</p> <p>作物や貿易の特徴と、その国の特徴を関連付けて考察し、その過程を解説作成という形で表現することができる。</p> <p style="text-align: right;">(思考・判断・表現)</p>
<p>5 グループ同士で解説を発表し合い、意見交換して解説を改善する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2つのグループで解説を相互に発表し合い、質疑応答や改善点を意見交換する時間を設ける。その後、グループに持ち帰って改善を行う。 	
<p>6 本時を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の定着をはかるため、本時で学んだ内容について振り返り、まとめる。 	

日本史 A

学習指導案

(2) 年 (6) 組 (7) 校時 (2 - 6) 教室			
教科・科目	日本史 A	単元名	二・二六事件

本 時 案

目 標	○二・二六事件の背景・内容・結果・影響を理解する。【知識・理解】 ○グループで課題解決に向けて協働的な学習を行うことができる。【関心・意欲・態度】		
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準・方法など	
1 本時の目標を知る。	○本時の目標を知らせる。		
2 二・二六事件の背景・内容・結果・影響をグループで各シートまとめる。	○発表用のホワイトボードシートとマーカーを人数分用意し、スムーズに記入できるようにする。		
前時の学習内容をもとにグループ内で分担して相談しながらまとめることで、理解を深める。			
3 まとめた内容を発表する。	○まず、2班で相互に行い、全員実施する。次に代表1班が全体発表を行う。	【知識・理解】 A 問題演習の正解がわかり、誤文を正文に訂正できる。	
4 学習内容を問題演習で確認する。	○演習問題を行わせ、学習の理解状況を確認させる。	B 問題演習の正解はわかるが誤文を正文に訂正できない。	
5 考察のテーマを知る。	○考察のテーマを知らせる。	C 問題演習の正解がわからない。	
自分の考えをグループで発表し、他者と意見交換する中で、考えを深める。			
6 「二・二六事件」を起こさせないためには、いつ、何をしていたらよかったか考え、グループで協議する。 ・個人で考え意見を記述 ・グループでの協議 ・発表	○個人で考えさせた後、グループで話し合い、最良の意見をホワイトボードシートに記入させ、黒板に掲示させる。代表者に補足説明をさせる。	【思考・判断・表現】 A 授業内容等から自分の考えをまとめ、グループ内で発表し、他者の考えを参考に自分の意見をまとめることができる。	
			
7 最終的な自分の意見をまとめる。	○他のグループの意見も参考にしながら各自の意見をまとめさせる。	B 授業内容等から自分の考えをまとめ、グループ内で発表することができる。	
8 本時の振り返りをする。	○本時の振り返りをさせる。	C 授業内容等から自分の考えをまとめられず、自分の考えを表現することができていない。 〈観察、ワークシート〉	

学習指導案

3年8・9組	1校時	教室：3年9組	指導者：大口 惣司
教科・科目	数学	単元名	積分

本時案

目標	○ 放物線と2接線で囲まれた図形の面積を求める公式（以下：1/12公式）を理解し面積を求めることができる。（数学的な技能）	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準，観点，評価方法
1. 本時の目的を確認する。	○ 授業のルールを確認させる。 ・分からないときはペアの人に尋ねる。 ・お互いに相談しながら理解を深める。	
<p>101 曲線 $y = x^2 - x - 1$ と直線 $y = x + 2$ で囲まれた図形の面積 S を求めよ。</p> <p>102 曲線 $y = x^2 - 2x$ と曲線 $y = -x^2 + x + 2$ で囲まれた図形の面積 S を求めよ。</p>		
2. 予習していた問題 101 , 102 の答え合わせをする。	○ 1/6 公式の使うポイントをペアで確認させる。	○ 1/6 公式を使うことができる。（数学的な技能）
<p>103 放物線 $C: y = x^2 - 4x + 3$ 上の点 $P(0, 3)$, $Q(6, 15)$ における接線を，それぞれ l, m とする。この2つの接線と放物線で囲まれた図形の面積 S を求めよ。</p>		
3. 予習していた問題 103 の答え合わせをする。	○ 問題を解くための流れを確認した後，解答をまとめさせる。 ○ わからない場合は，ペアの人を中心に質問させる。 ○ 早くできた生徒に次回の予習をするように指示する。	
4. 1/12公式を証明する。	○ 1/12 公式の証明を示したのち，ペアでポイントを確認させる。 ○ 1/12 公式を利用することで， 103 の答えをすぐに導くことができることを確認させる。（センター試験対策として）	○ 1/12 公式の証明を人に説明できる。（数学的な技能）
<p>51 2つの放物線 $C: y = \frac{1}{2}x^2$, $D: y = -(x-a)^2$ を考える。a は正の実数である。</p> <p>(1) C 上の点 $P\left(t, \frac{1}{2}t^2\right)$ における C の接線 l を求めよ。</p> <p>(2) (1)において，l がさらに D とも接するとき，l を C と D の共通接線という。2本の (C と D の) 共通接線 l_1, l_2 を求めよ。</p> <p>(3) (2) のとき，共通接線 l_1, l_2 と C で囲まれた図形の面積を求めよ。</p>		
5. 予習していた問題 51 の答え合わせをする。	○ 問題を解くための流れを確認した後，解答をまとめさせる。 ○ 1/12 公式を利用することで， 51 の答えをすぐに導くことができることを確認させる。（センター試験対策として）	<p>《評価方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・机間指導を通して，103, 51 の説明が理解できておらず解答が書けそうにない生徒に対してペアでの話し合いを設けるように促す。それが難しい場合は個別に説明をする。
6. 本時のまとめをし，次時の予定を確認する。		

数学 I

数学 I 学習指導案 岡山県立岡山芳泉高等学校 普通科 1年7,8組 S(標準)コース 32名 平成28年11月16日(水) 第2校時 第1多目的教室

本 時 案		
目 標	2つのデータの違いについて考えることができる。(数学的な見方や考え方) 分散の意味を理解することができる。(知識・理解)	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準, 観点, 評価方法
1 前時の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ○前時に学習した代表値について確認する。 ○2つのデータの代表値について考え, 代表値は同じだが, データは違うことに気づかせる。 	2つのデータの違いについて考えることができる。 (数学的な見方や考え方) 分散の意味を理解することができる。 (知識・理解)
2 本時の学習内容を知る。	2つのデータの違いについて考え, その表し方を考えよう	
3 散らばりについて考える。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">対話的な学び</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○2つのデータの違いについて個人で考えを書かせる。 ○ペアもしくはグループになるように指示し, <u>自分たちの考えを共有させる。</u> ○平均との差(偏差)について考えればよいことを知らせ, 偏差の平均が0になることに気づかせる。 ○なぜ0になったのか考えさせ, 正の値にする方法を考えさせ, 分散の式についてまとめさせる。また, 分散にルートをとったものを標準偏差と呼ぶことを知らせる。 	
4 分散を求める練習問題を解く。	○分散を, 式を元に計算させる。分からない生徒に対しては, 偏差を書き出すように指示をする。	
5 分散の別の計算方法を知る。	○分散の別の計算を知らせ, 計算させる。その際, 分散を求めるためにどちらを活用させたらよいか考えさせるようにする。	
6 練習問題を解く	○個人で考えさせ, 分からない生徒に対しては周りの生徒に聞いたり, 教員からヒントを与えたりして全員できるようにする。	
7 本時の学習内容をまとめ, 次時の学習内容を知る。	○本時の学習内容を生徒に発言させ, 授業の内容をまとめさせる。	

数学Ⅲ

数学Ⅲ 学習指導案

岡山県立岡山芳泉高等学校 普通科 3年6,8,9組 A2 (発展) コース 27名
平成28年11月16日(水) 第7校時 3年8組教室

本 時 案

目 標	協働学習を通じて既習内容の理解を深め、大学入試問題を主体的に解こうとする。 (知識・理解)	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準, 観点, 評価方法
<p>1 本時の目標及び学習内容を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習内容をお互いに確認し、大学入試問題を解く。 ・確認テスト全員合格! </div> <p>2 既習事項の確認をする。</p> <p>(1) 自分で考える。</p> <p>(2) ペアで確認する。</p> <p>(3) 解法を見て理解を深める。</p> <p>3 実践問題を解く。</p> <p>(1) 自分で解く。</p> <p>(2) ペアで意見交換する。</p> <p>(3) 解法を見て理解を深める。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>対話的な学び</p> </div> <p>4 確認テストを解く。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、既習内容を提示し、ペアで確認させる。 ・確認テストに完答できるような誘導を意識した発問をする。 ・ペアで話が進まない時には前後のペアに聞いたり席を移動しても良いことを伝える。 ・確認テストで合格できるように分からない部分を積極的に聞くようにさせる。 ・素早く正確に解くことを意識させる。できた生徒をアドバイザーに任命し、全員が合格できるように協力させる。 ・入試問題に対するアプローチについて話し、他分野の勉強にもつなげられるようにさせる。 	<p>○協働学習を通じて既習内容の理解を深め、大学入試問題を主体的に解こうとする。(知識・理解)</p> <p>〈評価方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークの観察 ・確認テスト <p>A：問題に主体的に取り組み、協働的な活動により、理解を深めようとしている。</p> <p>B：ヒントや解答を見ながら解答に到達しようとするが、協働的な活動が円滑でない場合もある。</p> <p>C：問題を解こうとせず、協働的な学習をしようとしなない。</p> <p>Cに対して：つまづきを確認し、協働的な活動に加わるように促す。</p>

数学Ⅱ

数学Ⅱ 学習指導案

岡山県立岡山芳泉高等学校 普通科 2年7,8組
平成28年11月16日(水) 第5校時 2年7組教室

本 時 案

目 標	3次方程式が異なる3つの実数解をもつ場合の定数 a の範囲を求めることができる。(数学的な技能)	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準, 観点, 評価方法
1 本時の目的を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業のルールを確認させる。 ・分からないときはペアの人に聞く。 ・お互いに相談しながら理解を深める。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>【完成ノート 434:☆☆☆】方程式 $2x^3 - 3x^2 - 36 - a = 0$ が異なる2つの解と1つの負の解をもつように、定数aの値の範囲を定めよ。</p> </div>		
2. 【問題 434】について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字定数を分離させるときのポイントをペアで確認させる。 ○ 問題を解くための流れを確認した後、解答をまとめさせる。 ○ できたら解答を各自で見て確認させる。わからない場合は、ペアの人を中心に質問させる。 ○ 早くできた生徒に完成ノートの練習435をするように指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定数分離の考え方で、定数aの値の範囲を求めることができる。(数学的な技能)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>【完成ノート 437:☆☆☆】3次方程式 $x^3 - 3ax^2 + a = 0$ が異なる3つの実数解をもつとき、定数aの値の範囲を定めよ。</p> </div>		
3. 【追加例題】について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字定数を分離させることができないことに気付かせる。 ○ ペアで教え合いをさせる。 ○ aの場合分けに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ (極大値)×(極小値)<0の考え方で、定数aの値の範囲を求めることができる。(数学的な技能) <p>《評価方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・机間指導を通して、例題の説明が理解できておらず解答が書けそうにない生徒に対してペアでの話し合いを設けるように促す。それが難しい場合は個別に説明をする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>【追加練習】3次方程式 $x^3 - 3m^2x + 4m = 0$ の異なる実数解の個数は、定数mの値によってどのように変わるか調べよ。</p> </div>		
3. 【追加練習】について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【追加例題】の流れを参考に、解答をまとめさせる。 	
4 本時のまとめをし、次時の予定を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【追加練習】の残りを次回までに解いて丸付けをしてくるように指示する。 	

対話的な学び

物理

学習指導案

岡山県立岡山芳泉高等学校 普通科	2年8組 (37名)
平成28年11月16日(水) 第4校時	第2物理教室
教科・科目：理系物理	単元名：音波

本 時 案

目 標	音波の諸性質が、日常生活の中に利用されていることを考察できる。(思考・判断・表現)	
学習内容	指導・支援上の配慮事項など	評価規準・方法など
1 本時の目標を確認する。	○本時の目標を掲示する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> 本時の目標：音波の性質を活かした技術を考え、紹介しよう。 </div>		
2 波の4つの性質「反射, 屈折, 干渉, 回折」を復習する。	○グループ内で説明者を分け, 各性質を説明するよう指示する。説明がしやすいよう, スライドの穴埋め形式で行う。	
3 本時の流れの説明を聞く。	○ワークシートを配布し, 4性質(反射, 屈折, 干渉, 回折)×2班の計8班に分ける。	
4 各班で担当する性質を活かした技術について考える。	○話し合いが円滑に行われるよう, ヒントになるような画像をスライドショーで流す。話し合い開始4分後にヒントカードを配布する。(Cの生徒への手立て)	[観察&ワークシート] 音波の諸性質が、日常生活の中に利用されていることを考察できる。(思考・判断・表現)
5 発表資料の作成に取りかかる。	○発表は, 模造紙に図示, または模型を作成して行う。必要な機材があれば随時申し出させる。	
6 代表して発表する班を決める。	○2班で発表内容を加味しながらグループを選出させる。	
7 発表時間2分, 質疑応答2分で発表を行う。	○ワークシートにメモを取らせながら発表を聞かせる。	
8 ワークシートを完成させ, 本時の振り返りをする。		



保健

保健体育（保健）科 学習指導案

岡山県立岡山芳泉高等学校 2年5組
平成28年11月16日(水) 第6校時 2年5組教室

目標	<p>○話し合いの中で、水質汚濁と土壌汚染の現状を理解し、それらの問題点や対策を学ぶ。 (関心・意欲・態度) (知識・理解)</p> <p>○環境汚染を防ぐことが、日常生活の中で実行できるようになることをめざす。 (思考・判断)</p>	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価基準・方法など
1 本時のねらいと学習内容を理解する。	<p>[導入]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気に挨拶をする，させる。 ・使用する教材を確認する，させる。 ・授業の内容と流れを理解させる。 	
<p>ねらい：水質汚濁・土壌汚染を理解し，日常でできる対応をしていこう</p>		
2 水質汚濁の健康被害を理解する。	<p>[展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業排水によっておこる水質汚濁について説明を行う。その際，水質汚濁によって起きた水俣病について説明を受け理解する。 ・生活排水について説明をする。生活排水をきれいにするには，どれくらいの水が必要なのか理解する。 ・土壌汚染について説明する。その際土壌汚染によって起きたイタイタイ病について説明を受け理解する。 	
3 土壌汚染の健康被害を理解する。		
4 身近にできる対応を考える（水質汚濁）	<ul style="list-style-type: none"> ・4～6人のグループを作る。 <p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラーメンが好きな人に何と声かけをするか。 (残り汁を捨てると生活排水による水質汚濁，飲みきると塩分過多による生活習慣病の観点より) ・各グループでまとめた意見を発表させる。 (この時，答えはなく，色々な意見が欲しいと言い，発言させやすくする。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 (関心・意欲・態度) (机間指導) 自分の考え，できることを発表する。(思考・判断)
5 次回の予告を聞き，挨拶をする。	<p>[まとめ3分]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時の予定を連絡し，元気に終わりの挨拶をする，させる。 	
準備物	教科書：現代高等保健体育，現代高等学校保健体育ノート，授業プリント，PC，プロジェクター，スクリーン	



家庭基礎

学習指導案

岡山県立岡山芳泉高等学校 普通科 1年3組 (40名) 平成28年11月16日(水) 第6校時 食物教室

本 時 案		
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準・方法など
目 標 ○グループの中での自分の役割を果たし、 グループの人と積極的にコミュニケーション をとり協力しながら、安全で能率の良い作業を時間内に終わらせる。 ○失敗したことについて、調理性を理解した上で自分たちで原因を考え、問題発見・課題解決ができるようにする。		
1 身支度をし、説明を聞き、本時の作業手順と役割分担を確認する。	○ 各自の仕事分担と全体の作業時間の流れを班で確認させる。 (服装のチェック) ○ 最初に分けておく食材の確認をさせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 班で協力しながら、ポイントを押さえた能率の良い実習をしよう。 </div>		
2 ピザ生地を分ける。 ピザの具を切る。 トマトソースの材料を切る。 コンソメスープを作る。	○生地を5等分して丸め、乾燥しないようにクッキングシートで巻いて休ませる。 ○まな板・包丁を能率良く使用し、全ての具材の厚み・向きに気をつけて切らせる。 ○手早くみじん切りにさせる。 ○まな板を使用しないことから取りかからせる。	◇調理のポイントを押さえて能率の良い実習ができている。 [技能] ◇評価方法 (実習・作業の行動観察)
3 具をバットに入れる。 トマトソースを作る。 スープの材料を切る。	○切れたものからバットに5等分して入れさせる。 ○玉ねぎが半透明になったら、トマトジュース・コンソメを入れ、焦がさないように煮詰めさせる。 ○まな板が空いてから切らせる。(ここまで30分) ○30分経過する5分前には予告をする。	
4 ピザ生地を成形しソースをぬり具をのせる。(10分) オープンの予熱をする。	○調理台を片付けてから、全員に生地を伸ばし、ソースをぬり具をトッピングさせる。 ○一斉にオープン予熱をさせる。(180℃)	
5 スープに野菜を加え味を整える。	○完成したら、火を止めてふたをさせる。	
6 ピザをオーブンで焼く。(10分) レモンティーの準備をする。	○鉄板2枚にピザ5枚をのせ、一度に2段入れて、一斉に焼かせる。(食器の用意、洗い物等) ○湯を取りに来させる。やけどに注意させる。 熱湯で作らせないようにさせる。	
7 食器に盛りつける。 試食台に運び配膳する。 椅子をおろす。(10分)	○必要な食器を用意し、正しく配膳をさせる。 ○試食準備が出来て席についた順番を、記録し、全体に知らせる。	
8 試食をする。(20分) <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block; background-color: #e6f2ff;"> 対話的な学び </div>	○調理時間と試食時間の確認をし、お互いに感想を交わしながら班ごとに試食させる。	◇調理実習の評価・反省がまとめられている。 [思考・判断・表現] ◇評価方法 (ワークシート)
9 片付けをする。(10分) 点検を受ける。(10分)	○班で協力しながら片付けをし、点検を受けさせる。	
10 評価・反省をし、ワークシートを完成する。(10分)	○評価・反省を書かせ、ワークシートを提出させる。	
準備物	エプロン・三角巾・手ふきタオル・髪ゴム(必要の人)・ワークシート	